



# ロングハピネス

米ドル建

変額個人年金保険（米ドル建保証金額付特別勘定終身年金型2016）

## 特別勘定運用レポート

2025年2月発行

ソニーライフ・ウィズ生命保険株式会社は、2021年4月1日にソニー生命保険株式会社と合併いたしました。

### <特別勘定運用レポートについて>

- ・当資料は、ソニー生命のご契約者等へ変額個人年金保険の運用状況等に関する情報提供を目的として作成したものです。運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・特別勘定が投資するファンドの運用状況に関する開示情報は、当該ファンドの運用会社が作成した運用報告をソニー生命が提供するものです。
- ・生命保険の募集を目的とした資料ではありません。
- ・記載内容は、発行月の前月末時点の情報を基に作成しています。
- ・ファンド名等の表記や投資対象等は、「特別勘定のしおり」等と異なる場合があります。

## 特別勘定の種類

### 【特別勘定（主契約部分）】

コース	早期受取コース	据置受取コース			
特別勘定名称	リスクバランス型2021（10A-7）	リスクバランス型2021（10A-8）			
ファンド名称	リクソー リスク・バランス・ゴールド・フィーダーファンド				
目標ボラティリティ	3.5（クラスUSD） 年率3.5%	4.5（クラスUSD） 年率4.5%			
ファンドの投資方針	各ファンドは、リクソー リスク・バランス・ゴールド・マスターファンド（以下、「マスター・ファンド」といいます）への投資を通じ、実質的にリスク・ベースによる機動的な資産配分とポートフォリオに対するボラティリティ・コントロールを行うことにより、信託財産の着実な成長と安定的な収益の確保を目指して運用を行います。				
リスクベース配分					
リスク資産	50%	50%/3	株式	米国	S&P500種
		50%/3		欧州	ユーロ・ストックス50指数
		50%/3		日本	日経225
	40%	20%	債券	米国	米国10年国債
		20%		欧州	ドイツ10年国債
	10%	10%	金	グローバル	金
キャッシュ				米国	マネーマーケット
資産運用関係費用 *1	年率0.34%程度（非課税）				
運用会社 *2	SGクラインオート・ハンブロス・コーポレート・サービシーズ（シーアイ）・リミテッド				

\*1 特別勘定（主契約部分）の資産運用関係費用は、主な投資対象であるファンドの管理費用等を記載しております。このほか、有価証券等の売買取引に伴う手数料等がかかる場合がありますが、費用の発生前に金額や割合を確定することが困難なため表示することができません。これらの費用は特別勘定がその保有資産から負担するため、特別勘定のユニットプライスに反映されることとなります。したがって、ご契約者にはこれらの費用を間接的にご負担いただくこととなります。資産運用関係費用は運用手法の変更や運用資産額の変動などの理由により、将来変更される可能性があります。

\*2 当運用レポート作成時点において、当社との間の資本関係および人的関係はありません。

### 【特別勘定（特約部分）】

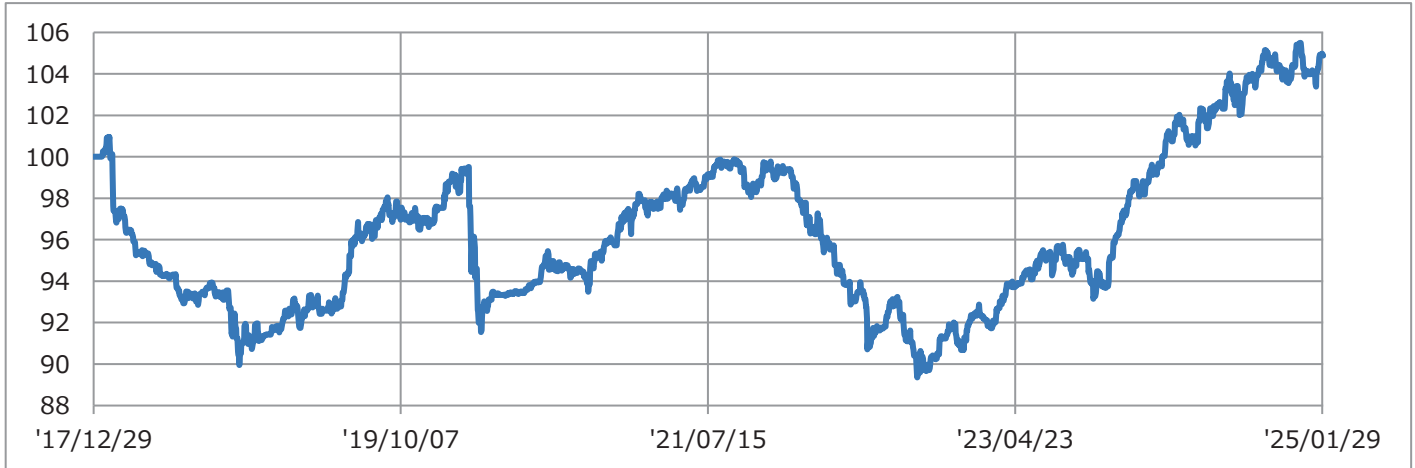
特別勘定名称	マネーボール型（10A-4）
運用方針	外貨建預金および外貨建短期金融商品を主要運用対象とし、資金動向ならびに市場動向等に配慮するとともに、流動性を確保しながら安定運用を行います。
資産運用関係費用	かかりません。
運用会社	ソニー生命保険株式会社

ご注意：

- ・特別勘定（特約部分）の投資対象および運用会社は、将来変更されることがあります。
- ・当社以外の運用会社を利用した場合に、資産運用関係費用がかかることがあります。

リスクバランス型2021（10A-7）

■ ユニットプライス推移グラフ



■ 設定日

2017年12月29日

■ ユニットプライス

2025年1月末  
104.88

最高値	最低値
'24/12/15	'22/09/29
105.49	89.35

■ 資産状況

	残高(千円)	構成比
ファンド	9,748	98.85%
現預金等	113	1.15%
合計	9,862	100.00%

※残高は単位未満を切り捨て、構成割合は小数第3位を四捨五入して表示しています。

■ 騰落率

1か月前	3か月前	6か月前	1年前	設定来
0.85%	0.44%	1.90%	5.70%	4.88%

※騰落率は、ユニットプライスを元に「騰落率 = { (終了日の価格 - 開始日の価格) ÷ 開始日の価格 } × 100」と計算し、小数第3位以下を切り捨てて表示しています。

リスクバランス型2021（10A-8）

■ ユニットプライス推移グラフ



■ 設定日

2017年12月29日

■ ユニットプライス

2025年1月末  
105.63

最高値	最低値
'24/12/15	'22/09/29
106.65	88.86

■ 資産状況

	残高(千円)	構成比
ファンド	2,354	97.86%
現預金等	51	2.14%
合計	2,406	100.00%

※残高は単位未満を切り捨て、構成割合は小数第3位を四捨五入して表示しています。

■ 騰落率

1か月前	3か月前	6か月前	1年前	設定来
0.94%	0.19%	1.70%	5.96%	5.63%

※騰落率は、ユニットプライスを元に「騰落率 = { (終了日の価格 - 開始日の価格) ÷ 開始日の価格 } × 100」と計算し、小数第3位以下を切り捨てて表示しています。

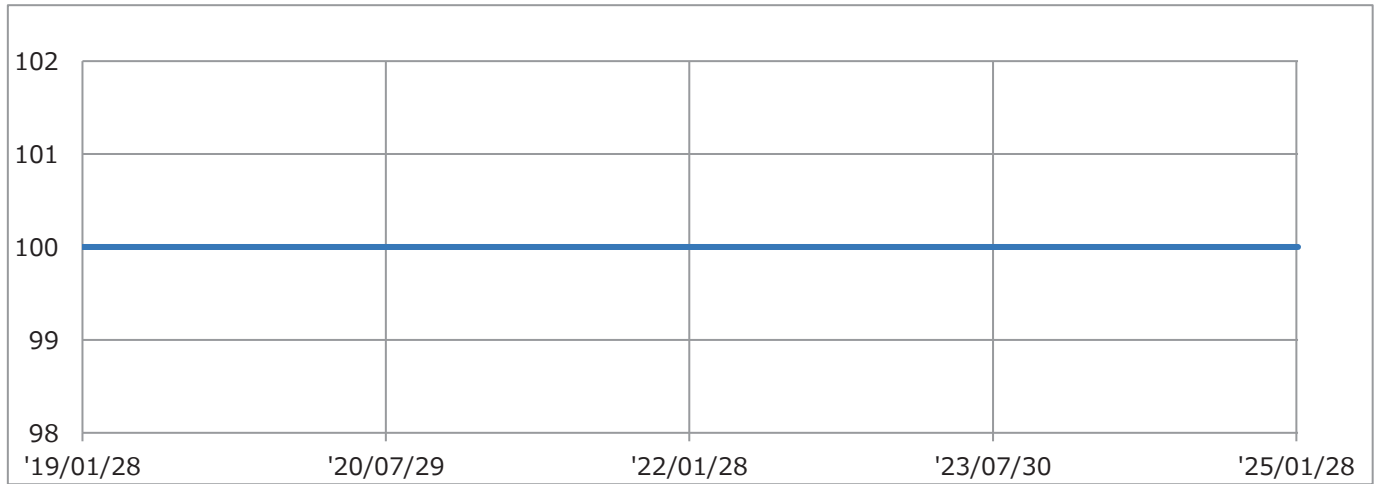
※本書面のユニットプライスの表示は、最適化型2017（10A-7・10A-8）については資産運用関係費用控除後です。

※2021年2月末までは最適化型2017（10A-7）（10A-8）のユニットプライスが表示されています。

※ユニットプライスは、小数第8位まで算出しておりますが、ここでは小数第3位以下を切り捨てて表示しています。（騰落率の計算は小数第8位まで使用しています。）

マネープール型（10A-4）

■ ユニットプライス推移グラフ



■ 設定日

2019年1月28日

■ ユニットプライス

2025年1月末

100.00

最高値	最低値
'19/01/28	'19/01/28
100.00	100.00

■ 資産状況

	残高(千円)	構成比
現預金	1,179	100.00%
合計	1,179	100.00%

※残高は単位未満を切り捨て、構成割合は小数第3位を四捨五入して表示しています。

■ 騰落率

1か月前	3か月前	6か月前	1年前	設定来
0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%

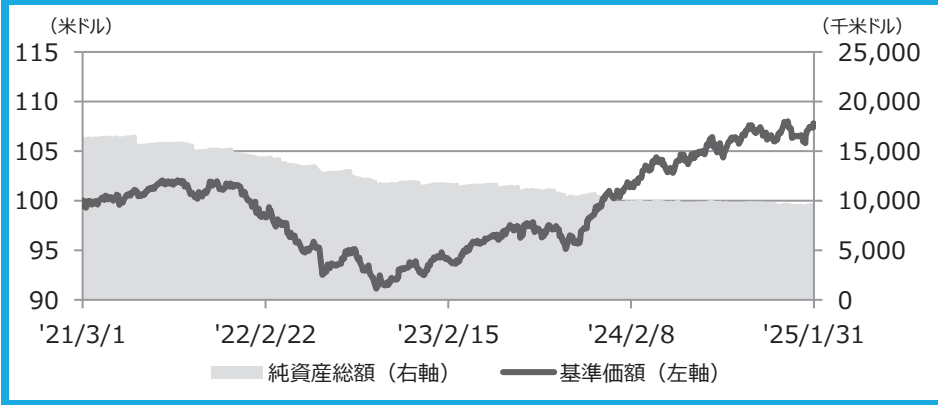
※騰落率は、ユニットプライスを元に「騰落率 = { (終了日の価格 - 開始日の価格) ÷ 開始日の価格 } × 100」と計算し、小数第3位以下を切り捨てて表示しています。

※本書面のユニットプライスの表示は、マネープール型（10A-4）については保険関係費用控除後です。

※ユニットプライスは、小数第8位まで算出しておりますが、ここでは小数第3位以下を切り捨てて表示しています。（騰落率の計算は小数第8位まで使用しています。）

【特別勘定名】	リスクバランス型2021（10A-7）
【特別勘定が投資するファンド】	リクソー リスク・バランス・ゴールド・フィーダーファンド3.5（クラスUSD）
【運用会社】	SGクラインオート・ハンブロス・コーポレート・サービシーズ（シーアイ）・リミテッド

## ■ 基準価額等の推移



## ■ 基準価額

107.77米ドル

## ■ ファンド概要

設定日 <sup>(*)</sup>	'21/3/1
純資産総額	9,786千米ドル

\* 設定日は当ファンドの運用を開始した日です。

\* 基準価額と純資産総額は資産運用関係費用控除後の値です。  
\* 上記のグラフは過去の実績を示したものであり、将来の成果をお約束するものではありません。

## ■ 騰落率

	直近1か月	直近3か月	直近6か月	直近1年	直近3年	設定来
ファンド	1.21%	1.53%	1.85%	6.08%	8.16%	7.77%

\* 騰落率は過去の実績を示したものであり、将来の成果をお約束するものではありません。

## ■ 資産構成と個別資産割合の状況

資産種類		リスク配分	投資対象（先物）	個別資産割合の履歴			
				当月末	前月末	前々月末	
株式	日本株式	50%	50%/3	日経225	4.63%	4.88%	4.84%
	米国株式		50%/3	S&P500種	6.66%	7.62%	7.53%
	欧州株式		50%/3	ユーロ・ストックス50指数	7.45%	7.65%	8.41%
債券	米国債券	40%	20%	米国10年国債	22.13%	24.47%	25.39%
	欧州債券		20%	ドイツ10年国債	22.22%	23.95%	23.90%
ゴールド		10%	10%	金	4.52%	5.10%	5.63%

\* 上記の表の個別資産割合は、純資産総額に対する割合です。

## ■ 【参考情報】米ドル/円の騰落率

	直近1か月	直近3か月	直近6か月	直近1年	直近3年	設定来
米ドル/円	-1.28%	2.08%	3.47%	5.63%	34.82%	45.36%

## ■ 市況コメント

1月の金融市場では、欧州及び米国の株式市場は上昇した一方、日本の株式市場は下落しましたが、欧州は上昇しました。こうした市場環境のもと、株式市場では、好調な決算やインフレ懸念の後退等から米国株式が前月比で+2.2%、中国の景気刺激策への期待やECBの追加利下げ期待などから欧州株式が前月比で+8.4%となった一方で、半導体関連銘柄への懸念などから日本株式が前月比で-0.1%となりました。債券市場では、1月中旬に発表された消費者物価指数がインフレの低下基調を示唆したことなどから米国債券が前月比で+0.1%となった一方で、欧州の長期金利はドイツを中心としたインフレ懸念の台頭等から欧州債券が前月比で-0.7%となりました。また、トランプ米大統領の関税政策への警戒等から金は前月比で+6.5%となりました。為替市場では、米ドルは日本円に対して前月比で1.3%下落しました。

・本資料は、外国投資法人である「リクソー リスク・バランス・ゴールド・フィーダーファンド3.5（クラスUSD）」（本資料では「ファンド」と記載しています。）の運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集またはファンドの勧誘を目的としたものではありません。

・本資料に記載された過去の運用実績に関するいかなる内容も、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

・本資料は、アムンディ・アセットマネジメントによる運用報告をソニー生命保険株式会社より提供するものであり、内容に関してソニー生命保険株式会社は一切の責任を負いません。

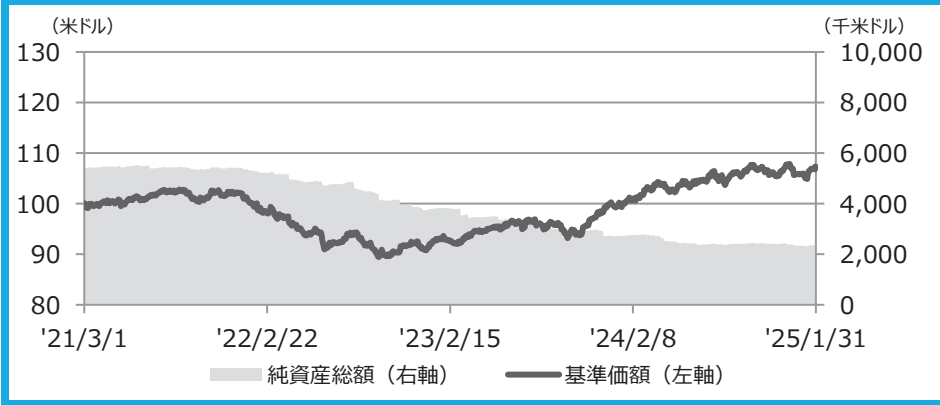
・本資料の内容はファンドにおける作成基準日の情報に基づいており、将来予告なく変更することがあります。

・本資料で使用している基準価額や騰落率等は、原則として資産運用関係費用控除後のものです。

・本資料中の各数値については、表示桁未満の数値がある場合、四捨五入して表示しています。

【特別勘定名】	リスクバランス型2021（10A-8）
【特別勘定が投資するファンド】	リクソー リスク・バランス・ゴールド・フィーダーファンド4.5（クラスUSD）
【運用会社】	SGクラインオート・ハンブロス・コーポレート・サービシーズ（シーアイ）・リミテッド

## ■ 基準価額等の推移



## ■ 基準価額

107.31米ドル

## ■ ファンド概要

設定日(*)	'21/3/1
純資産総額	2,366千米ドル

\* 設定日は当ファンドの運用を開始した日です。

\* 基準価額と純資産総額は資産運用関係費用控除後の値です。

\* 上記のグラフは過去の実績を示したものであり、将来の成果をお約束するものではありません。

## ■ 騰落率

	直近1か月	直近3か月	直近6か月	直近1年	直近3年	設定来
ファンド	1.43%	1.56%	1.60%	6.37%	7.58%	7.31%

\* 騰落率は過去の実績を示したものであり、将来の成果をお約束するものではありません。

## ■ 資産構成と個別資産割合の状況

資産種類		リスク配分		投資対象 (先物)	個別資産割合の履歴		
					当月末	前月末	前々月末
株式	日本株式	50%	50%/3	日経225	5.99%	6.38%	6.14%
	米国株式		50%/3	S&P500種	8.62%	10.06%	9.55%
	欧州株式		50%/3	ユーロ・ストックス50指数	9.64%	9.99%	10.67%
債券	米国債券	40%	20%	米国10年国債	28.65%	31.97%	32.22%
	欧州債券		20%	ドイツ10年国債	28.78%	31.29%	30.32%
ゴールド		10%	10%	金	5.86%	6.67%	7.14%

\* 上記の表の個別資産割合は、純資産総額に対する割合です。

## ■ 【参考情報】米ドル/円の騰落率

	直近1か月	直近3か月	直近6か月	直近1年	直近3年	設定来
米ドル/円	-1.28%	2.08%	3.47%	5.63%	34.82%	45.36%

## ■ 市況コメント

1月の金融市場では、欧州及び米国の株式市場は上昇した一方、日本の株式市場は下落しましたが、欧州は上昇しました。こうした市場環境のもと、株式市場では、好調な決算やインフレ懸念の後退等から米国株式が前月比で+2.2%、中国の景気刺激策への期待やECBの追加利下げ期待などから欧州株式が前月比で+8.4%となった一方で、半導体関連銘柄への懸念などから日本株式が前月比で-0.1%となりました。債券市場では、1月中旬に発表された消費者物価指数がインフレの低下基調を示唆したことなどから米国債券が前月比で+0.1%となった一方で、欧州の長期金利はドイツを中心としたインフレ懸念の台頭等から欧州債券が前月比で-0.7%となりました。また、トランプ米大統領の関税政策への警戒等から金は前月比で+6.5%となりました。為替市場では、米ドルは日本円に対して前月比で1.3%下落しました。

・本資料は、外国投資法人である「リクソー リスク・バランス・ゴールド・フィーダーファンド4.5（クラスUSD）」（本資料では「ファンド」と記載しています。）の運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集またはファンドの勧誘を目的としたものではありません。

・本資料に記載された過去の運用実績に関するいかなる内容も、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

・本資料は、アムンディ・アセットマネジメントによる運用報告をソニー生命保険株式会社より提供するものであり、内容に関してソニー生命保険株式会社は一切の責任を負いません。

・本資料の内容はファンドにおける作成基準日の情報に基づいており、将来予告なく変更することがあります。

・本資料で使用している基準価額や騰落率等は、原則として資産運用関係費用控除後のものです。

・本資料中の各数値については、表示桁未満の数値がある場合、四捨五入して表示しています。

【投資リスク・為替リスクについて】

この商品は、特別勘定の運用実績に基づいて、積立金額、年金額、死亡給付金額および解約返戻金額などが変動します。特別勘定の運用では、実質的に国内外の株式、債券、コモディティおよび短期金融商品などに投資します。このため、株価変動リスク、金利変動リスク、信用リスク、カントリーリスク、為替変動リスク、デリバティブ取引のリスクなどの投資リスクがあります。これらの投資リスクにより、この商品で最低保証の対象とならない解約返戻金等でお受け取りいただく金額の合計は、一時払保険料の金額を下回り、損失を生ずるおそれがあります。

なお、為替相場の変動により、お支払い時の為替レートで円貨に換算した受取総額（既払年金合計額と死亡一時金の合計額）、死亡給付金額および解約返戻金額が、ご契約時の為替レートで円貨に換算した金額や一時払保険料相当額を下回り、損失を生ずるおそれがあります。

【諸費用について】

この保険にかかる費用はご契約時にご負担いただく費用、据置期間中および保証金額付特別勘定終身年金の年金支払期間中にご負担いただく費用、遺族年金支払特約による年金支払期間中にご負担いただく費用ならびに外貨のお取り扱いによりご負担いただく費用の合計額となります。下記の内容は、将来変更されることがあります。

■ ご契約時にご負担いただく費用

項目	目的	費用	時期
契約初期費用	ご契約の締結等にかかる費用です。	一時払保険料に対して3.0%	特別勘定への繰り入れ前に、一時払保険料から差し引きます。

■ 据置期間中および保証金額付特別勘定終身年金の年金支払期間中にご負担いただく費用

項目	目的	費用	時期
保険関係費用	ご契約の締結・維持等に必要となる費用、死亡給付金・死亡一時金を最低保証するための費用および年金の支払いを保証するための費用です。	被保険者の性別、契約日における被保険者の満年齢および選択されたコースに応じて異なるため、一律に記載することが困難です。詳しくは、下表をご覧ください。	基本給付金額に対して下表の年率の1/12を乗じた金額を積立金から特別勘定繰入金日および契約日の月単位の応当日末に差し引きます。
資産運用関係費用 * 1	特別勘定（主契約部分）の運用にかかわる費用で、特別勘定（主契約部分）で主に利用するファンドの管理費用等です。	特別勘定（主契約部分）が投資対象とするファンドの信託財産に対して年率 <b>0.34%</b> 程度（非課税）	特別勘定（主契約部分）が投資対象とするファンドの信託財産に対して左記の年率を乗じた額を信託財産から日割りで毎日差し引きます。

\* 1 資産運用関係費用は、主な投資対象である外国投資法人の管理費用等を記載しております。このほか、有価証券等の売買取引に伴う手数料等がかかる場合がありますが、費用の発生前に金額や割合を確定することが困難なため表示することができません。これらの費用は特別勘定がその保有資産から負担するため、特別勘定のユニットプライスに反映されることとなります。したがって、ご契約者にはこれらの費用を間接的にご負担いただくこととなります。資産運用関係費用は運用手法の変更や運用資産額の変動などの理由により、将来変更される可能性があります。資産運用関係費用につきまして、詳しくは「特別勘定のしおり」をご確認ください。

【保険関係費用】基本給付金額に対する年率表

被保険者の性別および契約年齢		早期受取コース [据置期間1年]	据置受取コース [据置期間5年～20年]
男性	46歳～50歳	2.03%	2.14%
	51歳～55歳	1.99%	2.10%
	56歳～60歳	2.04%	2.16%
	61歳～65歳	2.16%	2.28%
	66歳～70歳	2.46%	2.58%
	71歳～74歳	2.84%	
女性	46歳～50歳	2.50%	2.61%
	51歳～55歳	2.40%	2.51%
	56歳～60歳	2.43%	2.54%
	61歳～65歳	2.50%	2.62%
	66歳～70歳	2.79%	2.90%
	71歳～74歳	3.04%	

<年金為替ターゲット支払特約により年金額が特別勘定（特約部分）に移転された場合にご負担いただく費用>

項目	目的	費用	時期
保険関係費用	特別勘定（特約部分）の維持等に必要となる費用です。	積立金額（特約部分）に対して年率0.50%（上限）* 2	積立金額（特約部分）に対して左記の年率の1/365を乗じた額を積立金（特約部分）から毎日差し引きます。

\* 2 年金為替ターゲット支払特約の保険関係費用は、この特別勘定の投資先資産の利回りをご負担いただくものとし、年率0.50%を上限とします。

## ご留意いただきたい事項

### ■ ご契約の解約・一部解約時にご負担いただく費用

この保険では、ご契約の解約・一部解約時にご負担いただく費用（解約控除等）はありません。

### ■ 遺族年金支払特約による年金支払期間中にご負担いただく費用

項目	目的	費用	時期
年金管理費用	年金のお支払いの管理にかかる費用です。	支払年金額に対して、年金の受取通貨が円の場合は0.25%、米ドルまたは豪ドルの場合は0.50%（2024年4月現在） （商品によって、選択できる通貨は異なります。）	年金支払開始日以後、年金支払日に保険料積立金から差し引きます。

ご注意：年金管理費用は、年金基金設定日に定める率を適用するため、将来変更する可能性があります。

### ■ 外貨のお取り扱いによりご負担いただく費用

- 一時払保険料を外貨でお払い込みになる場合、金融機関への振込手数料のほかにも手数料をご負担いただく場合があります。また、年金等を外貨でお受け取りになる場合にも手数料をご負担いただくことがあります。詳しくは、取扱金融機関にご確認ください。
- 一時払保険料を円貨でお払い込みになる場合や年金および死亡給付金などを円貨でお受け取りになる場合には、外国為替手数料をご負担いただくことになります。当社所定の為替レート（下表）とTTM（対顧客電信売相場仲値）との差額が、外国為替手数料として特約適用時のご負担となります。

為替レートの種類	為替レート
「円貨入金レート」（保険料円貨入金特約の為替レート）	TTM + 50銭
「円貨支払レート」（円貨支払特約の為替レート） 「年金円貨支払レート」（年金円貨支払特約の為替レート） 「判定為替レート」（年金為替ターゲット支払特約で年金額の取り扱いを決める際に用いる為替レート）	TTM - 1銭

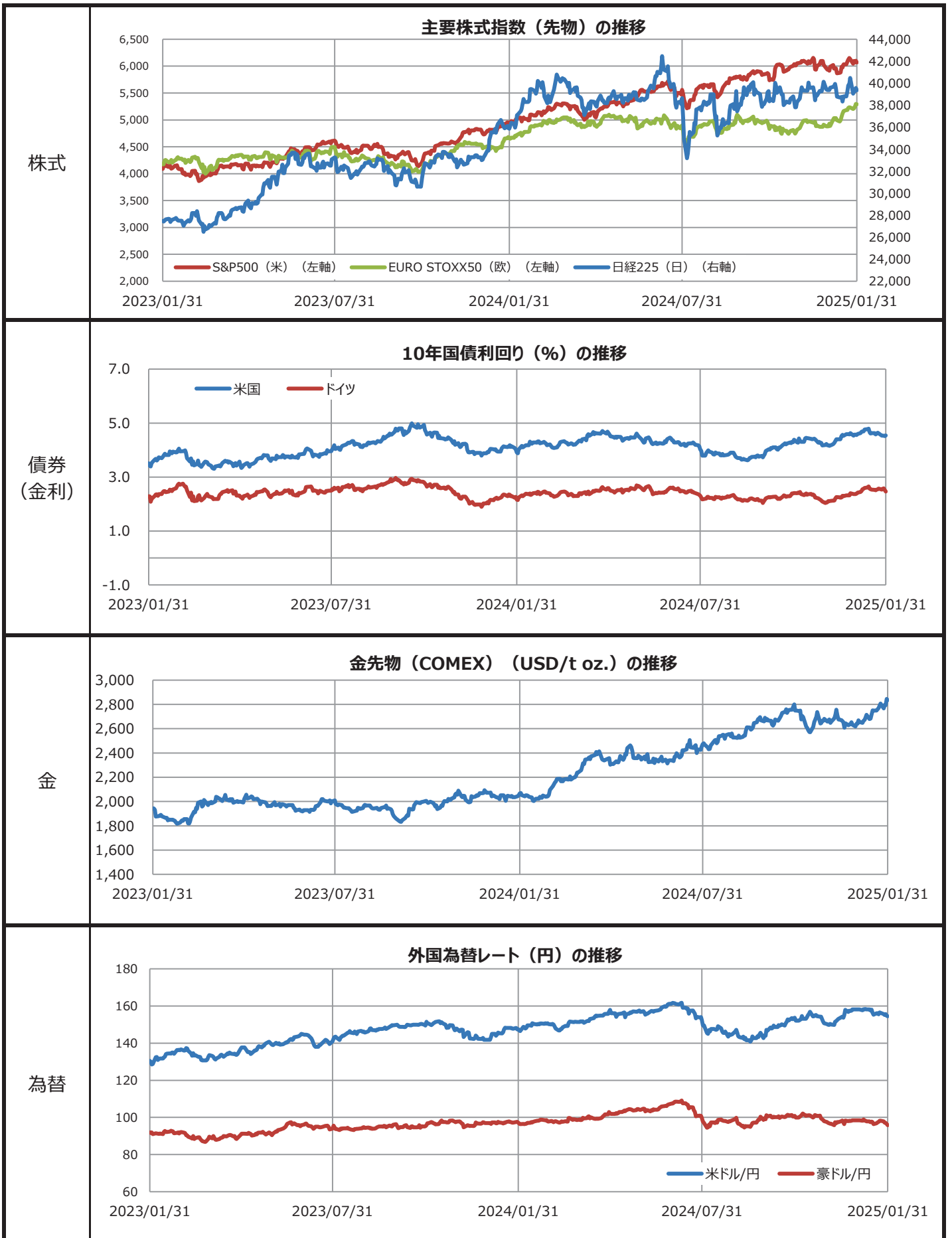
※TTMは、当社所定の金融機関が公示するその日の最初のTTS（対顧客電信売相場）とTTB（対顧客電信買相場）との中間の値となります。

ご注意：外国為替手数料は将来変更されることがあります。

### ■ その他のご留意事項

- \* 変額個人年金保険（米ドル建保証金額付特別勘定終身年金型2016）「ロングハピネス」は当社を引受保険会社とする生命保険商品です。預金とは異なり、元本保証はありません。また、預金保険制度の対象ではありません。
- \* このレポートは特別勘定の運用状況を開示するためのものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- \* ご検討にあたっては、「契約締結前交付書面（契約概要／注意喚起情報）兼商品パンフレット」を必ずお読みいただき、内容を十分にご理解ください。ご契約に際しては、「契約締結前交付書面（契約概要／注意喚起情報）兼商品パンフレット」「ご契約のしおり・約款」「特別勘定のしおり」を必ずご確認ください。
- \* この保険は、変額保険販売資格・外貨建保険販売資格をもった担当者がお取り扱いします。





※当ページに記載している各指数などのグラフについては、Bloombergのデータに基づき当社が作成したのですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、資料中のデータは過去の実績であり、将来の市場動向または運用成果等を予測または保証するものではありません。

- 当ページ以降は2017年12月から2021年2月までの旧特別勘定（主契約部分）の投資対象となる投資信託に関する情報です。
- これらの投資信託による運用は終了しております。
- 掲載の情報は2021年2月までの投資信託の運用状況となっております。

【特別勘定名】	最適化型2017（10A-7）
【特別勘定が投資する主な投資信託】	SA VA ストラテジーファンド 3.5
【運用会社】	日興AMグローバル・ケイマン・リミテッド

## ■基準価額の推移



※基準価額は、管理報酬等控除後の値です。

## ■基準価額

97.42米ドル

## ■ファンド概要

設定日	2017/12/12
純資産総額	16,736千米ドル

## ■騰落率

	直近1ヵ月	直近3ヵ月	直近6ヵ月	直近1年	直近3年	設定来
ファンド	1.67%	3.08%	3.32%	3.70%	0.46%	-2.58%

※騰落率は、ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものと計算した理論上のものである点にご留意ください。

## ■参照指数の構成要素

資産種類	構成要素	配分比率	配分比率の履歴*		
			当月末	前月末	前々月末
株式	日本の株式市場の先物に対するルール戦略	0~30%	14.86%	12.06%	6.04%
	米国の株式市場の先物に対するルール戦略	0~30%	1.22%	6.01%	0.00%
	欧州の株式市場の先物に対するルール戦略	0~30%	0.00%	0.00%	0.00%
	新興国の株式市場の先物に対するルール戦略	0~20%	11.40%	10.69%	15.43%
債券	日本の国債市場の先物に対するルール戦略	0~30%	6.00%	30.27%	29.84%
	米国の国債市場の先物に対するルール戦略	0~30%	0.00%	0.00%	15.15%
	欧州の国債市場の先物に対するルール戦略	0~30%	8.56%	26.62%	29.89%
商品（コモディティ）	金先物に対するルール戦略	0~30%	0.00%	0.00%	1.52%
短期金融資産	USDゴールドマン・サックス・オーバーナイト・マネー・マーケット指数	0~100%	57.96%	14.35%	2.13%

※ゴールドマン・サックス証券株式会社から提供を受けたデータを基に作成しておりますが、掲載データに関する情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。

※上記の配分比率は、構成要素のパフォーマンスにより一時的に上限を超えることがあります。

※上記は、今後変更となる可能性があります。

※当レポートのグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。  
 ※当レポート中の各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。  
 ※投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。当資料は、日興アセットマネジメントが当ファンドの運用状況についてお伝えすることなどを目的とし、受益者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。  
 ※日興AMグローバル・ケイマン・リミテッドは、ファンドの資産の投資および再投資の運用に関して、投資顧問会社である日興アセットマネジメント アジア リミテッドに業務を委託しています。

\*2021年2月25日を作成基準日としております。但し、配分比率の履歴は2021年2月17日を作成基準日としています。

【特別勘定名】	最適化型2017（10A-8）
【特別勘定が投資する主な投資信託】	SA VA ストラテジーファンド 4.5
【運用会社】	日興AMグローバル・ケイマン・リミテッド

## ■基準価額の推移



※基準価額は、管理報酬等控除後の値です。

## ■基準価額

98.54米ドル

## ■ファンド概要

設定日	2017/12/12
純資産総額	5,690千米ドル

## ■騰落率

	直近1ヵ月	直近3ヵ月	直近6ヵ月	直近1年	直近3年	設定来
ファンド	2.28%	4.21%	4.61%	5.06%	0.16%	-1.46%

※騰落率は、ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものと計算した理論上のものである点にご留意ください。

## ■参照指数の構成要素

資産種類	構成要素	配分比率	配分比率の履歴*		
			当月末	前月末	前々月末
株式	日本の株式市場の先物に対するロール戦略	0~30%	19.14%	15.43%	7.55%
	米国の株式市場の先物に対するロール戦略	0~30%	1.56%	7.71%	0.00%
	欧州の株式市場の先物に対するロール戦略	0~30%	0.00%	0.00%	0.00%
	新興国の株式市場の先物に対するロール戦略	0~20%	14.72%	14.03%	20.28%
債券	日本の国債市場の先物に対するロール戦略	0~30%	6.00%	30.35%	29.80%
	米国の国債市場の先物に対するロール戦略	0~30%	0.00%	0.00%	9.56%
	欧州の国債市場の先物に対するロール戦略	0~30%	10.16%	30.33%	29.85%
商品（コモディティ）	金先物に対するロール戦略	0~30%	0.00%	0.00%	2.94%
短期金融資産	USDゴールドマン・サックス・オーバーナイト・マネー・マーケット指数	0~100%	48.42%	2.15%	0.02%

※ゴールドマン・サックス証券株式会社から提供を受けたデータを基に作成しておりますが、掲載データに関する情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。

※上記の配分比率は、構成要素のパフォーマンスにより一時的に上限を超えることがあります。

※上記は、今後変更となる可能性があります。

※当レポートのグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。  
 ※当レポート中の各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。  
 ※投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。当資料は、日興アセットマネジメントが当ファンドの運用状況についてお伝えすることなどを目的とし、受益者の皆様に当ファンドへのご理解を高めるためにより作成した資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。  
 ※日興AMグローバル・ケイマン・リミテッドは、ファンドの資産の投資および再投資の運用に関して、投資顧問会社である日興アセットマネジメント アジア リミテッドに業務を委託しています。

\*2021年2月25日を作成基準日としております。但し、配分比率の履歴は2021年2月17日を作成基準日としています。

【投資リスク・為替リスク】

この商品は特別勘定の運用実績に基づいて積立金額、年金額、死亡給付金額および解約返戻金額などが変動します。特別勘定の運用では、外貨建投資信託を通じて先物取引、スワップ取引、ETF、債券などに投資します。このため、価格変動リスク、信用リスク、カントリーリスク、為替変動リスク、デリバティブ取引のリスク、カウンターパーティー・リスク、流動性リスクなどの投資リスクがあります。これらの投資リスクにより、この商品で最低保証の対象とならない解約返戻金等でお受け取りいただく金額の合計は、一時払保険料の金額を下回り、損失を生ずるおそれがあります。なお、為替相場の変動により、お支払い時の為替レートで円貨に換算した受取総額（既払年金合計額と死亡一時金の合計額）、死亡給付金額および解約返戻金額が、ご契約時の為替レートで円貨に換算した金額や一時払保険料相当額を下回り、損失を生ずるおそれがあります。

【諸費用について】

この保険にかかる費用はご契約時にご負担いただく費用、据置期間中および保証金額付特別勘定終身年金の年金支払期間中にご負担いただく費用、遺族年金支払特約による年金支払期間中にご負担いただく費用ならびに外貨のお取り扱いによりご負担いただく費用の合計額となります。下記の内容は、将来変更されることがあります。

■ ご契約時にご負担いただく費用

項目	目的	費用	時期
契約初期費用	ご契約の締結等にかかる費用です。	一時払保険料に対して3.0%	特別勘定への繰り入れ前に、一時払保険料から差し引きます。

■ 据置期間中および保証金額付特別勘定終身年金の年金支払期間中にご負担いただく費用

項目	目的	費用	時期
保険関係費用	ご契約の締結・維持等に必要となる費用、死亡給付金・死亡一時金を最低保証するための費用および年金の支払いを保証するための費用です。	被保険者の性別、契約日における被保険者の満年齢および選択されたコースに応じて異なるため、一律に記載することが困難です。詳しくは、下表をご覧ください。	基本給付金額に対して下表の年率の1/12を乗じた金額を積立金から特別勘定繰入日未および契約日の月単位の応当日末に差し引きます。
資産運用関係費用*	特別勘定の運用にかかわる費用で、特別勘定で主に利用する投資信託の信託報酬等が含まれます。	特別勘定が投資対象とする投資信託の信託財産に対して年率0.60%（非課税）	特別勘定が投資対象とする投資信託の信託財産に対して左記の年率を乗じた額を信託財産から日割りで毎日差し引きます。

\* 特別勘定の資産運用関係費用は、主たる投資対象である外貨建投資信託（ケイマン籍）の管理費用等を記載しており、参照指数の使用料としての年率0.274%を含みます。このほか、有価証券等の売買取引に伴う手数料等がかかる場合がありますが、費用の発生前に金額や割合を確定することが困難なため表示することができません。これらの費用は特別勘定がその保有資産から負担するため、特別勘定のユニットプライスに反映されることとなります。したがって、お客さまにはこれらの費用を間接的にご負担いただくこととなります。資産運用関係費用は運用手法の変更や運用資産額の変動などの理由により、将来変更される可能性があります。資産運用関係費用につきまして、詳しくは「特別勘定のしおり」をご確認ください。

【保険関係費用】基本給付金額に対する年率表

被保険者の性別および契約年齢		早期受取コース [据置期間1年]	据置受取コース [据置期間5年～20年]
男性	46歳～50歳	2.03%	2.14%
	51歳～55歳	1.99%	2.10%
	56歳～60歳	2.04%	2.16%
	61歳～65歳	2.16%	2.28%
	66歳～70歳	2.46%	2.58%
	71歳～74歳	2.84%	
女性	46歳～50歳	2.50%	2.61%
	51歳～55歳	2.40%	2.51%
	56歳～60歳	2.43%	2.54%
	61歳～65歳	2.50%	2.62%
	66歳～70歳	2.79%	2.90%
	71歳～74歳	3.04%	

<年金為替ターゲット支払特約により年金額が特別勘定（特約部分）に移転された場合にご負担いただく費用>

項目	目的	費用	時期
保険関係費用	特別勘定（特約部分）の維持等に必要となる費用です。	積立金額（特約部分）に対して年率0.50%（上限）*	積立金額（特約部分）に対して左記の年率の1/365を乗じた額を積立金（特約部分）から毎日差し引きます。

\* 年金為替ターゲット支払特約の保険関係費用は、この特別勘定の投資先資産の利回りをご負担いただくものとし、年率0.50%を上限とします。

## ご留意いただきたい事項

### ■ ご契約の解約・一部解約時にご負担いただく費用

この保険では、ご契約の解約・一部解約時にご負担いただく費用（解約控除等）はありません。

### ■ 遺族年金支払特約による年金支払期間中にご負担いただく費用

項目	目的	費用	時期
年金管理費用	年金のお支払いの管理にかかる費用です。	支払年金額に対して、年金の受取通貨が円の場合は0.25%、米ドルまたは豪ドルの場合は0.50%（2024年4月現在） （商品によって、選択できる通貨は異なります。）	年金支払開始日以後、年金支払日に保険料積立金から差し引きます。

ご注意：年金管理費用は、年金基金設定日に定める率を適用するため、将来変更する可能性があります。

### ■ 外貨のお取り扱いによりご負担いただく費用

- 一時払保険料を外貨でお払い込みになる場合、金融機関への振込手数料のほかにも手数料をご負担いただく場合があります。また、年金等を外貨でお受け取りになる場合にも手数料をご負担いただくことがあります。詳しくは、取扱金融機関にご確認ください。
- 一時払保険料を円貨でお払い込みになる場合や年金および死亡給付金などを円貨でお受け取りになる場合には、外国為替手数料をご負担いただくことになります。当社所定の為替レート（下表）とTTM（対顧客電信売相場）との差額が、外国為替手数料として特約適用時のご負担となります。

為替レートの種類	為替レート
「円貨入金レート」（保険料円貨入金特約の為替レート）	TTM + 50銭
「円貨支払レート」（円貨支払特約の為替レート） 「年金円貨支払レート」（年金円貨支払特約の為替レート） 「判定為替レート」（年金為替ターゲット支払特約で年金額の取り扱いを決める際に用いる為替レート）	TTM - 1銭

※TTMは、当社所定の金融機関が公示するその日の最初のTTS（対顧客電信売相場）とTTB（対顧客電信買相場）との中間の値となります。

ご注意：外国為替手数料は将来変更されることがあります。

### ■ その他のご留意事項

- \* 変額個人年金保険（米ドル建保証金額付特別勘定終身年金型2016）「ロングハピネス」は当社を引受保険会社とする生命保険商品です。預金とは異なり、元本保証はありません。また、預金保険制度の対象ではありません。
- \* このレポートは特別勘定の運用状況を開示するためのものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- \* ご検討にあたっては、「契約締結前交付書面（契約概要／注意喚起情報）兼商品パンフレット」を必ずお読みいただき、内容を十分にご理解ください。ご契約に際しては、「契約締結前交付書面（契約概要／注意喚起情報）兼商品パンフレット」「ご契約のしおり・約款」「特別勘定のしおり」を必ずご確認ください。
- \* この保険は、変額保険販売資格・外貨建保険販売資格をもった担当者がお取り扱いします。

<募集代理店>

<引受保険会社>

## ソニー生命保険株式会社

〒100-8179 東京都千代田区大手町1-9-2  
大手町フィナンシャルシティ グランキューブ

ホームページ [www.sonymlife.co.jp/](http://www.sonymlife.co.jp/)

担当者の身分・権限等についてのお問い合わせは下記のフリーダイヤルをご利用ください。

<カスタマーセンター> ☎0120-955-900

個人情報の保護に関する法律の定めに基づき、契約内容に関するお問い合わせは保険契約者ご本人様からお願いしております。  
なお、お問い合わせの際は、保険証券などの「証券番号」が分かるものをご用意ください。